

令和2年度事業報告

概要

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症が全国各地で猛威を振るい、釧路市においても集団感染(クラスター)が発生するなど、地域経済に多大な影響を与え、基幹産業の不振や少子・高齢化の進行による人口減少等も重なり、シルバー人材センター事業にも大きな影響が出ました。

そうした厳しい地域社会情勢の中で、定年退職後等も長年培った知識や経験を活かし、地域社会の支え手、担い手として「生涯現役」をモットーに、安全就業第一とした就業機会の確保・提供及び会員拡大を図るとともに、シルバー人材センター事業における諸活動を、会員並びに役職員が一致協力して実施いたしました。

また、適正就業ガイドライン周知を取り組むとともに、北海道シルバー人材センター連合会が行う、一般労働者派遣事業に取り組み、高齢者の多様な就業形態に対応した事業を展開いたしました。

しかし、定年延長並びに継続雇用制度等労働環境が変化していることに加え、新型コロナウイルスに係る緊急事態宣言に伴う経済活動の停滞と行動自粛が影響し、会員数が大きく減少し、対前年度56名の会員減となり、就業関係では受注件数、就業延日人員、契約金額ともに前年度実績を下回る結果となりました。

事業概要

| 項目 | 令和元年度実績 | 令和2年度実績 | 前年度差異 |
|--------|-----------|-----------|-------------------|
| 会員数 | 618人 | 562人 | △56人(△9.1%) |
| 受注件数 | 1,473件 | 1,035件 | △438件(△29.7%) |
| 就業延日人員 | 38,155人 | 31,454人 | △6,701人(△17.6%) |
| 契約金額 | 204,619千円 | 172,061千円 | △32,558千円(△15.9%) |
| 就業率 | 72.7% | 67.3% | 5.4ポイント減 |

事業の内容

1 安全・適正就業の強化

草刈業務シーズン開始前に安全就業研修会の実施や、安全就業推進委員会による繁忙期の巡回パトロールを、全国的に事故発生率が高い剪定作業・草刈業務について実施し、就業会員や就業先関係者に安全就業意識やコロナ感染症対応の健康管理について要請を行いました。

また、会報に安全委員会だよりとして活動状況等を掲載し、安全就業と事故防止の啓発により事故発生を未然に防ぐ努力をしましたが、残念ながら傷害事故2件、賠償事故1件が発生いたしました。

特に、シルバー人材センター適正就業ガイドラインの周知啓発を継続し、不適正な業務依頼は受託しないことや、ローテーション就業推進等による適正な業務運営に取り組みました。

2 会員の拡大

会員100万人達成計画の取り組みにより、当センターにおいても会員・役職員が新規会員一人獲得運動の推進と口コミによる入会促進活動を継続して実施、さらにハローワーク釧路に開設された「生涯現役支援窓口」と連携を図るとともに、釧路市にも協力を要請し、広報誌での会員募集や市施設にリーフレットの備え付け等実施いたしました。

また、入会希望者に対してはコロナ禍も鑑み、三密を回避するため入会説明会を

取り止め随時受付を実施することとし、入会手続きを出来るだけ迅速になるよう対応いたしました。

3 会員組織体制の再編

会員減少による地域班の再編成を実施し効率化を図りましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、地域会員との対話の場である地域班会議が全地域で開催できませんでした。

4 普及啓発・地域支援サービス事業の推進

センターホームページを活用し、インターネットを通じたセンター情報の発信、マスコミなどへの情報提供、ハローワーク・釧路市などにリーフレットの配布等シルバー人材センター事業のPRを実施いたしました。

また、一人暮らしの高齢者などからの生活支援サービス依頼の対応や、女性会員の増強と活躍の場を提供するため、掃除・洗濯・食事作り・除草などの生活支援業務をできる限り受託いたしました。

さらに、各職群班活動におけるグループ就業推進に取り組みました。

しかしながら、毎年実施していた地域イベント会場などでの清掃ボランティアについては、新型コロナウイルス感染症拡大によりイベント自体が中止となり実施できませんでした。

5 事業運営等に関する調査研究実施

発注者の多様なニーズを把握するため、北海道シルバー人材センター連合会と共同でセンター活用に関するアンケート調査を実施いたしました。

また、会員の技術向上を図るため各種技能講習会開催を研究・検討し、後継者不足が深刻化している草取りや清掃作業の職種に対応するため講習会を開催いたしました。

さらに、事務局体制については、公益社団法人としての事業運営に係る事務の適正化・効率化を一層高め、事務局職員の資質向上を図るため研修会、講習会を積極的に活用いたしました。

6 一般労働者派遣事業の推進

適正就業ガイドラインを周知し、請負・委任にはなじまない事案の点検を行い、北海道シルバー人材センター連合会の実施事務所として、シルバー人材センター一般労働者派遣事業を実施し、高齢者の多様な就業形態に対応いたしました。

年齢別正会員数（令和3年3月31日現在）

| 区 分 | 男 性 | 女 性 | 合 計 | 構成比 |
|---------|-------|-------|-------|-------|
| 60歳～64歳 | 7 | 4 | 11 | 1.9% |
| 65歳～69歳 | 53 | 34 | 87 | 15.5% |
| 70歳～74歳 | 130 | 77 | 207 | 36.8% |
| 75歳～79歳 | 114 | 42 | 156 | 27.8% |
| 80歳以上 | 68 | 33 | 101 | 18.0% |
| 合 計 | 372 | 190 | 562 | |
| 平均年齢 | 75.1歳 | 74.3歳 | 74.8歳 | |